



National Association of Japan-America Societies, Inc.

*Bridging the Pacific
Since 1978*

www.us-japan.org

Japan-America Youth Baseball Camp 2005

July 12 - 22, 2005



1150 Connecticut Ave., NW
Suite 1050
Washington, DC 20036
Tel: 202-429-5545
Fax: 202-429-0027
Email: contact@us-japan.org

National Association of Japan-America Societies, Inc.

全米日米協会連合

スポンサー・協賛団体

プログラムスポンサー

フリーマン財団

全日空

ANA

A STAR ALLIANCE MEMBER ☆

メジャーリーグベースボール・ジャパン



アリゾナ・ダイヤモンドバックス・トレーニングセンター



北海道日本ハムファイターズ



支援・協賛団体

野球関連団体

メジャーリーグベースボール・ジャパン
アリゾナ・ダイヤモンドバックス・トレーニングセンター
北海道日本ハムファイターズ
北海道野球協議会
日本ポニーベースボール協会
サンリーグ全国硬式野球協会
全日本リトルシニア委員会北海道連盟

日米協会

全米日米協会連合 (NAJAS)
アリゾナ日米協会
北海道日米協会

政府機関

在日米国大使館
在札幌米国総領事館
外務省
在米日本大使館

その他

アウトバックステーキハウス



目次

スポンサー・協賛団体
目次

2005年プログラムの概要.....	1
2005年プログラム日程.....	2
参考資料	
2004年度プログラム評価（要約）.....	3



日米両国からの参加者による交流試合。2004年8月6日、アリゾナ・セドーナにて



試合直前にスタジアムのスクリーンに映されるフィールドに立つ参加者。2004年8月6日、アリゾナダイヤモンドバックス、バンクワンスタジアムにて

2005年プログラムの概要

2004年に全米日米協会連合（NAJAS）は、北海道日本ハムファイターズ及びアリゾナダイヤモンドボックスの支援・協力の下、日米交流150周年事業の一環として日米青少年ベースボールキャンプ2004を行いました。キャンプは全行程14日間にわたり、そのうち7日間はアリゾナ・フェニックスにてダイヤモンドバックストレーニングセンター主催の野球教室に日米両国計36名の少年野球選手が参加し、また、その後ロサンゼルスとシアトルにてメジャーリーグ観戦などのイベントを行いました。プログラムの目的は、日米両国において長い歴史を持つ野球を通して、若い世代のお互いの文化への理解を深める機会を提供、また、当プログラムを継続的な次世代の交流の場として発展させることです。

2004年の成功をうけて、全米日米協会連合は日米野球少年、また野球指導者間の第2回目の交流を行うことを決定しました。今回も昨年と同様に北海道日本ハムファイターズ及びアリゾナダイヤモンドボックス、また新たにメジャーリーグベースボールの支援・協力のもと開催されます。

今年は2004年とは逆に、アリゾナから北海道に野球少年及びコーチを呼び寄せ、北海道日本ハムファイターズとその他関係団体による様々なイベントに参加する予定です。また、東京においては、メジャーリーグベースボールを通じて、千葉ロッテマリーンズ主催の野球教室、東京読売ジャイアンツによるイベント、そして観光などを行うことになっています。

日米両国で豊かな歴史を持つ野球は、両国の青少年がお互いの国の文化に触れる為のまたとない機会になると考えられます。言うまでもなく、異文化間交流は今日の国際関係の重要な基盤の一つであり、将来の日米関係をより一層強固なものにしていくためのきっかけを、参加者が球場のダイヤモンドの上で掴めることを願って当企画の準備を進めております。

プログラム概要

プログラム： 日米青少年ベースボールキャンプ2005

期間： 2005年7月12日から22日

場所： 北海道、東京、千葉

参加者： 13から15才までのアメリカ人野球選手10名
13から15才までの日本人野球選手40名（千葉及び北海道）
ダイヤモンドバックストレーニングセンターのコーチ2名
ホストファミリー10家族（札幌・旭川）

参加・協賛団体： 16団体

参加費： 無料（おこづかい、空港等での軽食などを除く）

保険： Travel Insured International, Inc.（海外旅行保険）

スポンサー： フリーマン財団、全日空、メジャーリーグベースボール・ジャパン、アリゾナ・ダイヤモンドボックス・トレーニングセンター、北海道日本ハムファイターズ

連絡先： 全米日米協会連合（NAJAS）
Eメール：contact@us-japan.org

2005年プログラム日程

07/11 (Mon)	PM	ダイヤモンドボックスにて出発前のオリエンテーション	
07/12 (Tue)	AM	フェニックス出発（ロサンゼルス若しくはサンフランシスコ 経由）	フェニックス
07/13 (Wed)	PM	成田着、東京で宿泊	
07/14 (Thu)	AM PM	築地魚市場見学 本郷中学校野球部と交流 千葉ロッテマリーンズ野球教室（上野球部と共に参加） マリーンズ選手との交流 アウトバックステーキハウスにて夕食	東京 千葉
07/15 (Fri)	AM PM	埼玉栄高校相撲部にて相撲体験ツアー 駐日米国大使公邸にてシーファー大使と昼食 秋葉原観光 東京ドームツアー及び試合観戦（東京 v s 横浜）	
07/16 (Sat)	AM PM	東京出発、札幌着到 旭川にてホストファミリーと合流 ホストファミリーと自由行動	
07/17 (Sun)	AM PM	比布町営球場にて地元チームとの交流会及び試合 フェニックストレーニングセンター落成式 旭川グランドホテルにてウェルカムパーティー	
07/18 (Mon)	AM PM	ホストファミリーと自由行動 札幌津ドームにて北海道日本ハムファイターズ野球教室 札幌ドームスタジアムにてリュニオンパーティー	北海道
07/19 (Tue)	AM PM	札幌ドームスタジアムにてファイターズ野球教室 札幌ドームスタジアムにおいてゲーム前のセレモニー ファイターズホームゲーム（北海道 v s 千葉）	
07/20 (Wed)	AM PM	札幌市内観光 札幌ドームスタジアムにてファイターズ野球教室	
07/21 (Thu)	AM PM	札幌市内観光 札幌ドームスタジアムにてファイターズ野球教室	
07/22 (Fri)	AM PM	札幌出発 フェニックスに到着	フェニックス



ダイヤモンドボックスキャンプ中のスピードトレーニング。2004年8月3日、フェニックス市営球場にて



ダイヤモンドボックスのホームゲームを観戦する日米の参加者とホストファミリー。2004年8月6日、バンクワンスタジアムにて

2004年プログラム評価（要約）

全米日米協会連合（NAJAS）は、2004年に第1回目を企画する段階から、当プログラムを将来継続的に行うことを目的としていたため、プログラム終了後参加者及び関係者の皆様を対象にアンケートを行いました（以下はその結果の要約）。

当プログラムの性質を鑑み、NAJASはアンケートを業務評価と参加者評価の2つに分けました。前者はNAJASのスタッフ及び協賛・関係団体を対象とし、また、後者は日米の参加選手及び保護者、参加コーチを対象として行われました。さらに、ダイヤモンドボックスは野球キャンプに限定された内容で個別に参加者にアンケートを取りました。

NAJASのプログラム業務についての評価（有効回答数44）

NAJASの業務に関して9つの項目を日本人参加者、保護者、コーチ、そして関係団体に評価を頂きました。それらの項目は主にNAJASのスタッフの業務の効率、コミュニケーション、態度や熱意に関するもの、そしてNAJASによって提供された情報の信憑性や配布物の質に関するものでした。平均して、5段階評価（1＝悪い、5＝良い）で70%が4以上、29%が3と回答しました。また、全体として、参加選手よりも関係団体と引率コーチがより高い評価をしたことは、NAJASスタッフと選手の間でのコミュニケーションの頻度が低かったことが考えられます。

ベースボールキャンプについての評価（有効回答数27）

ダイヤモンドボックスのベースボールキャンプについて、日米の参加選手及び引率コーチを対象に5つの質問がなされました。これらの質問はキャンプ全体の印象、施設、指導者のプロフェッショナルリズムや指導力、そしてキャンプの構成などに関するものでした。5段階評価で、100%がキャンプは有意義なものであり、指導者の能力や誠意も高く評価し（共に4以上）、全員が将来再び参加したいと回答しました。

プログラム全体についての評価（有効回答数21）

フェニックスにおいて最も人気があったのはホームステイとベースボールキャンプでした。ロサンゼルスではサーフィン・レッスン（ビーチピクニック）とドジャーズのゲーム、また、シアトルではマリナーズの試合観戦が最も楽しかったイベントとして挙げられました。解答者全員が将来機会があればまたプログラムに参加したいとし、友人にも参加を勧めるとしました。

全体として、殆どの参加者と関係団体から高い評価を受ける結果となりました。一般にホームステイなどの異文化交流は関係者全員にとって大変有意義な経験となる一方で、とても困難な状況を生じることもあります。その意味で、当プログラムは熱意のある参加者と関係団体の皆様に恵まれたことが成功の第一要因であったと思われます。



National Association of Japan-America Societies, Inc.
1150 Connecticut Avenue, NW
Suite 1050
Washington, DC 20036
Tel: (202) 429-5545
Fax: (202) 429-0027
Email: contact@us-japan.org
Website: <http://www.us-japan.org>